

ダイナミックな渓谷美と紅葉を歩く 鳩ノ巣溪谷探勝

実施日 2015年11月8日(日)
 天候 雨/曇り
 リーダー 渋谷 賢寿
 参加者 若村貴世子、横山義彦、安田三恵子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、関塚七海、渡邊悦子 計10名
 費用 JR(立川起算)立川⇒古里550円/奥多摩⇒立川640円 計1,190円
 タイム 古里駅(9:42)寸庭橋(10:15)休憩(10:55~11:25)雲仙橋(11:40)昼食(12:15~12:55)白丸ダム(13:10)もえぎの湯(13:50)

当日は生憎の雨、降水量が0.5ミリから1ミリと言う情報を頼りに計画通り歩くことにしました。

雨の予報にも関わらず10名もの方に参加戴きありがとうございます。

笠取山を源流とする多摩川の上流、鳩ノ巣溪谷は奇岩や巨岩が連なる渓谷美が魅力。



古里駅をスタートして寸庭橋に差し掛かると、眼下に清らかな溪流と巨岩が織

り成す溪谷が美しく、霧雨でしっとり濡れた紅葉がとても綺麗です。道はここで車道から離れ、しばらく川沿いの道を歩いた後程なく急な上り坂、カップの下

のTシャツが汗で濡れた頃に見晴らしの良い稜線にある東屋に到着、ここで持参のココアとスクオーンでティータイムを取った後、小康状態に成った空



模様の中を雲仙橋に向かう。

横山さんとはここでお別れ、最寄り駅の鳩ノ巣駅からお帰りです、我々は双



龍の滝を見た後昼食を予定している白丸ダム手前の休憩所を備えた広場へ向いま

した。

途中、多摩川を挟んで並行する道路をパトカーがサイレンを鳴らしながら何台か



通り過ぎるのを聞きながら暫く歩いた後広場に到着、ゆっくり昼食と記念撮影。その広場の端方に警察官が2~3人、チョット雰囲気怪しい。色々な妄想が頭をよぎる、警察官が居るのはこれから向かう白丸ダムへと向かう道の途中、警官の横を通る時にその背後、壁の様に急な杉林の上方70m位の所に更に10名程の警察官がひとかたまりに成って何か調査中の様、富士の樹海が有名だけど……。

私達の前を歩いていた方が通報した様で、もしかしたら自分達が第一発見者に成ったかと思うとゾッとしました。

白丸ダムを後にしてひたすら車道を歩きもえぎの湯へ

天候には今ひとつ恵まれませんでしたが一歩一歩とした奥多摩の秋の一日を楽しめたと思います。

(記・渋谷 賢寿)
(写真提供・伊藤 久雄)

